

【 会 議 録 （ 概 要 ） 】

実施日時： 令和8年（2026年）2月13日(金) 14時30分～16時00分

会議名	越谷市商工対策委員会 令和7年度第1回会議	実施場所	越谷市役所本庁舎8階 第一委員会室
件名/議題	【令和7年度第1回会議】 1 開会 2 会長（副会長）の選出について 3 議事 ・越谷市中小企業振興計画について ・越谷市観光まちづくり推進計画について 4 閉会	会議資料： (■有 □無)	
出席者等	出席委員(順不同) 中島 美三郎委員（会長）、高橋 奨委員（副会長）、山本 佳子委員（副会長）、 小倉 悦男委員、森本 雄一委員、藤森 正信委員、桃木 利幸委員 欠席委員(順不同) 小櫃 義徳委員、児玉 浩孝委員、中内 啓夫委員、兵頭 良樹委員、小林 仁委員 事務局 環境経済部副部長、経済振興課長、経済振興課調整幹、経済振興課副課長、 経済振興課地域産業推進室長、事務局担当5名 傍聴人 なし		
●主な意見等			
【令和7年度第1回会議】 ・各計画の推進にあたっては、市内事業者との連携を意識してほしい。			

○議長

議事について事務局より説明願う。

○事務局

越谷市中小企業振興計画の推進状況、越谷市観光まちづくり推進計画の推進状況等を説明。

○議長

ただ今の説明について、何か意見や質問等はあるか。

○委員

越谷市中小企業振興計画について、重点施策に「女性が活躍する」との記載があるが、「女性が活躍する」の定義は。

○事務局

正社員やパートなど、働き方は様々あり、また、置かれている状況も様々なことから、明確な定義付けはしていない。当市としては、多くの女性が活躍できるよう支援していく。

○委員

越谷市中小企業振興計画について、【継ぎやすいまち】の実現に向け、「ビジネスサポートセンターこしがやでの事業承継に関する相談件数（累計）」が掲げられているが、相談者の属性は、工業系や商業系など、内訳は把握しているか。

○事務局

現在は、工業系や商業系などといった属性での内訳は把握していない。今後、工業系や商業系などの属性を分けて集計していくよう検討していく。

○委員

越谷市観光まちづくり推進計画を推進するにあたり、「水遊都市 KOSHIGAYA」との関連性は。

○事務局

水辺の活用や各種イベントなど、地域の魅力を発信する際には、シティプロモーションの一環として、ブランドメッセージである「水遊都市 KOSHIGAYA」を活用している。

○委員

越谷市観光まちづくり推進計画について、市に訪れる方や住民にとってはとても良い計画であると思う。一方で、推進にあたっては、市内の事業者とどう連携していくことをイメージしているか。

また、越谷市中小企業振興計画について、フリーランスの方への支援についてはどう考えているか。

○事務局

観光の推進については、行政単独で進めることは不可であり、市民や市内の事業者など、多くの方との連携が欠かせないと考えている。そのため、現計画の推進にあたっては、多様な業種・団体の方で構成されるサロンを年1回程度開催し意見交換を行っている。

また、令和9年度には、本計画の中間見直しをする予定であるため、改めて、市内の事業者との連携

を意識した内容にするよう検討していきたい。

○事務局

働き方の多様化により、フリーランスで活動されている方も増加していると認識している。本市としては、フリーランスだから支援はしない、といった考え方はなく、本市では、フリーランスの方も含め、市内の事業者や創業者向けの経営相談窓口である「ビジネスサポートセンターこしがや」を用意している。ここでは、事業計画の策定や財務・資金に関することなど、様々な相談を受けることが可能であるので活用を促進していきたい。

○委員

フリーランスの方の中には、経営経験が浅い方や資金繰りに悩む方など、不安を感じながら事業を進めている方も多いと感じる。利益の出し方や損益の考え方など、フリーランスの方でも自身の経営を理解できるような仕組みを今後検討していただきたい。

○委員

越谷市中小企業振興計画について、指標の達成状況が遅れているものが一部あるが、その理由や対策は。

○事務局

まず、指標の「市の支援を受けて創業した方のうち女性創業者の割合」の達成状況が遅れている理由について、例えば、創業支援セミナー参加者の傾向を見ると、創業して生計を立てていきたいという方より、好きなことや趣味を活かしたいという方が多い傾向にあり、創業に至らないケースがある。また、資金面での懸念や子育てとの両立など、こうした点も一因ではないかと考えている。一方で、こうしたケースでも、地域のにぎわいやコミュニティの活性化に寄与している面もあると考えており、本市としては、女性の創業者増加に向けて、既存事業の見直しや新規事業の検討など、女性を取り巻く創業環境の変化などに注視しながら、より創業しやすい環境の整備に努めていきたい。

○事務局

続いて、指標の「延べ就職相談件数（累計）」の達成状況が遅れている理由について、近年では就職活動のデジタル化や相談先の多様化が進んでおり、これらが相談件数減少の要因の一つとして考えられる。今後については、こうした背景をしっかりと分析し、時代の変化に合わせた対応ができるよう検討していきたい。

○議長

各年ごとに設定している想定目標値の考え方は。

○事務局

基本的には、令和8年度の目標値から、各年ごとに按分し設定している。

○委員

越谷市中小企業振興計画について、一般的な計画期間は5年であると思うが、4年にしている理由は。

また、指標について、令和6年度の時点で、既に令和8年度の目標値をクリアしているものがあるが、目標値を見直すなどの考えはあるか。

○事務局

計画期間については、第5次総合振興計画の終期と合わせているため、4年間の計画期間となっている。

指標の見直しについては、現時点で目標値をクリアしているものについても引き続き推進を図っていくが、具体的な見直しは、次回の計画全般の見直しに合わせて再検討していく。

○委員

水辺活用事業の中で造られるコンテナにはどんな事業者が入れるのか。また、入るにあたっては、労働保険や社会保険など遵守されるのか。

○事務局

水辺活用事業については、市や県、民間会社と連携して進めている事業になり、インフラなどのハード面の整備は市や県が行っている。一方で、入居者選定などのソフト面は民間会社が行うことになっており、今後決定される見込みである。

○議長

その他、何か意見や質問等はあるか。無ければ、本日の委員会はこれで閉会とする。